

図書館だより



no.218

2019(令和元)年5月17日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Te1 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fks.ed.jp/>



5月イベント情報

【県民講座】「福島大学食農学類のめざすもの」ほか



講師：生源寺眞一氏（福島大学農学群食農学類長）他

日時：5/25（土）13:00～15:30

会場：福島県立図書館 講堂

★入場無料
★参加申込不要

【展示】

「福島大学食農学類がめざすもの」

期間：5月10日～6月5日

場所：図書館ロビー展示コーナー

内容：大学での研究を紹介するパネル、
所属教員が執筆した図書の展示等

【進路相談会】

講座と同日開催！

日時：16:00～17:00

場所：図書館第二研修室

内容：食農学類教員による進路相談
(高校生が主な対象)



6月イベント情報

ふくしまを知る連続講座①

私の好きなふくしまの山

■日時：6/16（日） 14:00～15:30

■会場：福島県立図書館 第一研修室

■講師：西岡義治氏

★入場無料 ★参加申込不要

なぜ福島に山に興味を持ち、著書『わが愛しき福島の山』等を執筆するに至ったのか、自然の豊かさや心ひかれた人々の優しさについて語ります。

ふくしまを知る連続講座②

企画展「はま・なか・あいづ再生史」をテーマに

日時：6/23(日) 14:00～15:30 講師：阿部知己氏

ふくしまを知る連続講座③

奥会津の古文書一三島町・金山町・昭和村を中心に一

日時：10月(詳細未定) 講師：福島県歴史資料館学芸員

ふくしまを知る連続講座④

福島の偉人『三浦謹之助博士』をテーマに

日時：11月(調整中) 講師：伊達市保原歴史文化資料館
学芸員

展示情報

企画展 フィンランドの子どもの本

～フィンランドと日本の外交樹立100周年～

■日時：5/10（金）～6/5（水）

■場所：展示コーナー

フィンランドと日本の外交樹立100周年を記念して、「カレワラ」、「トペリウス童話」、トーベ・ヤンソンの他、フィンランドの現代児童文学作家について紹介します。

時事展示 万葉集を知る

～「令和」改元を記念して

■日時：5/10（金）～7月3日（水）

■場所：時事展示コーナー

本のひろば ①「ふくしまの自然と生業」

②「子ども・若者の生きづらさによりそう」

■日時：5/10（金）～7/3（水）

■場所：本のひろばコーナー

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『文豪の猫』アリソン・ナスタシ／著
エクスナレッジ 2018.12 902.05/77 18Z

猫ブームが話題になって久しいですが、「作家と猫」との組み合わせも相性抜群のようで、昨今多くの文人たちが猫の気ままで謎めいた性質に魅了されてきました。本書には、世界の45人の作家と猫との関係が写真とともに見開きで紹介されています。日本からも村上春樹と大佛次郎が掲載されています。ときに気難しく孤独といったイメージを持たれやすい作家たちですが、愛猫を前に見せる柔らかな表情に素顔が垣間見られて素敵です。

『ロブスターの歴史』エリザベス・タウンサンド／著
原書房 2018.12 664.76/77 18Z

ロブスターを食べたことはありますか？日本ではそこまでポピュラーではないロブスターですが、ヨーロッパでは石器時代から食べられていました。巻末のレシピ集には5世紀の調理法も掲載されています。第5章「人道的な殺し方と調理法」では生物と人間との共存について考えさせられます。「食」の図書館シリーズは他にも「ホットドッグの歴史」「バーベキューの歴史」などがあり、興味深いラインナップとなっています。お手に取ってみてはいかがでしょうか。

『静寂と沈黙の歴史 ルネサンスから現代まで』
アラン・コルバン／[著] 2018.12 230.5/77 18Z

日常の中で静けさを感じることはあるでしょうか。絶えず音が溢れている現代において、静寂や沈黙に苦痛を感じる方もいるかもしれません。

この本では、場所や物、自然、宗教、言葉など、様々なものから静寂や沈黙を読み取り、それに含まれる意味を読み解いていきます。私たちの身近にも宿っている静けさという贅沢について、考えてみることで一冊です。

児童・児童図書研究

『新しい心のバリアフリーずかん』中野 泰志／監修
千谷 文子・石井 信子・川島 晶子／文・構成
川島 晶子／編 ほるぷ出版 2018.9 369/77

日常にある「バリア」を理解することで、「心のバリアフリー」に近づくことが出来ます。ポイントとなるのは3つの考え方。本書では3つをカギとして「あたりまえ」を見直します。みんなが暮らす町にあるバリアと、解消するための工夫。バリアとは何か、工夫とはどんな取組みがあるのかを理解することで、みんなが暮らしやすい「あたりまえ」を考えてみませんか。

雑誌・新聞

年度が替わり、また新たな始まりを迎えました。4月から「働き方改革」が始動し、長時間労働の是正や非正規-正規の格差解消、また、多様性がある働き方を推進していくことが目標とされています。さらに「外国人労働者」の受け入れ等も注目されています。そこで今回は、「働き方改革」と「外国人労働者」をテーマに取り上げた雑誌をご紹介します。

『季刊労働法』264号, 2019.春 Z366.1/R7
特集：動き出す「働き方改革」

『ハウジング・トリビューン』2019.No6, VoL.575
Z527/H1
特集：職人不足の救世主となるか 外国人労働者どう受け入れる！？

また、改元を迎えたことで注目を集めている「元号」についての雑誌もご紹介します。

『マスターズ Masters 日本経済の未来を創る経営者たち』第37巻4号, 通巻451号, 2019.4
Z051/K36/3-
特集：大化から平成、そして — 今こそ元号のこれまでを振り返る

地域

『原町市史 第2巻 通史編2 近代・現代』
南相馬市教育委員会文化財課市史編さん係／編
南相馬市 L219/H1/2-2-1

1997年度に始まった『原町市史』はこの巻をもって完結しました。明治から平成の大合併による南相馬市誕生までの通史となります。同時に別冊として年表も刊行されました。完結まで約20年かかった労作です。他の巻とあわせてぜひご利用ください。

『つなぐ 駅伝 Fukushima ふくしま駅伝30回記念誌』福島民報社／編 福島民報社 L782.3/F4/4

今年の1月に開催された全国男子駅伝で福島県が初優勝を飾ったことは記憶に新しく、東北勢初の快挙に県民はとても勇気付けられました。

本書は平成元年から始まった「ふくしま駅伝」30回の歴史や記録を振り返るのは勿論のこと、「山の神」柏原竜二さんを招いて行われた講演会やインタビューのほか、箱根駅伝をはじめとする全国大会での「福島県勢活躍の記録」等も掲載されており、盛りだくさんの内容となっています。駅伝と共に「平成」を振り返る記念誌です。ぜひお手に取ってみてください。